学校番号	３０５

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭基礎」自立・共生・創造　（東京書籍出版）						
副教材等	自主制作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に関心を持ち、より良い暮らしについて考え、積極的に課題・実習に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。
　多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の課題として捉え、より良い生活を目指しましょう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち､その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし､その解決をめざして思考を深め､適切に判断し､工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉､衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄの記述 ﾚﾎﾟｰﾄの記述 発表　等	学習状況の観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄの記述 ﾚﾎﾟｰﾄの記述 作品 発表　等	学習状況の観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄの記述 ﾚﾎﾟｰﾄの記述 作品　等	学習状況の観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄの記述 ﾚﾎﾟｰﾄの記述 作品 定期考査　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	自分らしい人生をつくる	○自分を見つめる ・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ○家族・家庭を見つめる ・家族・家庭の捉え方 ・家族と法律 ○これからの家庭生活と社会 ・男女で担う家庭生活	○ ○	○ ○ ○		○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 d:人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査
	子どもと共に育つ	○子どもの育つ力を知る ・身体の発達 ・心の発達 ・遊びの発達 ○親として共に育つ ・子どもの生活と保育 ○これからの保育環境 ○子どもとの触れ合いから学ぶ ＊折り紙を用いての製作 ＊保育園での見学と実習 ＊沐浴実習	○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	
	高齢社会を生きる　共に生き、共に支える	○高齢社会の現状と課題 ○高齢者の心身の特徴 ○高齢者を支える社会のしくみ ○私たちの生活と福祉 後期住生活にて ＊シニア体験 ＊車椅子体験	○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○	○ ○ ○ ○ 	a:高齢者の生活、共生社会と福祉について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活、共生社会の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活、共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える認識するために必要な知識を身に付けている。	

	経済生活を営む	○計画的に使う ・収入と支出を知る ・家計のマネジメント ＊マネープランゲーム ○現代の消費社会 ・契約と契約トラブル ・消費者をめぐる問題 ＊社会への扉	○ ○	○	○	○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と経済計画・管理、生活設計について、考え工夫している。 c:生涯を見通した経済計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	
	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ○被服を管理する ・被服の手入れ ・洗濯・漂白・仕上げ・保管 ＊被服製作 巾着袋の製作	○ ○	○ ○	 ○	 ○	a:被服管理、健康で快適な衣生活に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:衣生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d:健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	
後期	食生活をつくる	○食生活の課題について考える ・食生活の変化 ・青年期の食生活の課題 ○食事と栄養・食品 ・生涯の健康と食事 ・栄養と栄養素 ○食生活の安全と衛生 ○調理の基礎 ＊調理実習 ①和食の献立 ②中華の献立 ③洋食の献立 ④辻学園調理・製菓専門学校からの出前授業	○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通じて健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習と通して身に付けている。 d:実験、実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査

	住生活をつくる	○住生活について考える ・住居の機能と変化 ・平面図を理解する ○住生活の計画と選択 ・安全で快適な住生活 ・健康な住生活 ・誰もが住みやすい住生活 ＊シニア体験 ＊車椅子体験	○	 ○	○ ○	○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を営むために必要な知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、実習・実験など、実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。